

4

テーマ : 米国代替医療における
「マイタケ D-フラクシオン」の臨床使用状況
講演者 : シャリ・リバーマン博士 (Ph.D., C.N.S.)
日時 : 99年10月10日
第二回日本代替医療学会

米国の代替および補完医療界では広く、多くの医師がグリフロン「マイタケ D-フラクシオン」商品を使用しております。その商品を臨床の場で使用している一人であるリバーマン博士が、「マイタケ D-フラクシオン」使用の方法や結果などについてお話致します。

まず第一に、「マイタケ D-フラクシオン」の免疫賦活作用、抗腫瘍、抗慢性疲労症候群、抗 HIV・エイズなどの効果について、基礎実験に加え、人体での試験結果をご紹介致します。

1. 有効成分の特定
2. 免疫担当細胞活性メカニズムの解明
3. 発癌抑制効果
4. 癌細胞転移抑制効果
5. 抗腫瘍効果
6. 臨床データ統計
7. 化学療法との併用による相乗効果
8. 化学療法由来の副作用の軽減と QOL 向上効果

第二に、リバーマン博士自らの臨床経験を元に、「マイタケ D-フラクシオン」をどのように患者に投与するか、他の代替薬との併用の仕方、さらにどのような結果が期待できるかなど、症例毎に説明致します。さらに、アンドリュウ・ワイル博士、ロバート・アトキンズ先生、マイケル・ウィリアム博士、アーノルド・タケモト先生など、同博士の友人であり、かつ米国の代替医療を代表する数々の著名医師による「マイタケ D-フラクシオン」使用報告をご紹介します。

1. 癌患者の場合の「マイタケ D-フラクシオン」使用方法
2. 慢性疲労症候群の患者の場合
3. エイズ患者の場合
4. その他医師による報告例

第三に、現在進行中である、FDA（米国連邦食品薬品管理局）の承認の下に行われている新薬申請用臨床治験 IND について現況報告致します。これは末期の乳癌と前立腺癌患者を対象にグリフロン「マイタケ D-フラクシオン」を使用した臨床試験で、米国マイタケ・プロダクツ社の資金援助によって行われています。

第四に、つい先頃、ニューヨーク医学大学の田崎教授によって確認された興味深い新発見であります、「マイタケ D-フラクシオン」のアポトーシス作用についてもお話致します。

第五に、リバーマン博士の友人であるジョージタウン大学の教授によって現在実験が進行しているマイタケのその他の生理活性、つまり抗糖尿、血圧降下、コレステロール降下などの作用についてもお話致します。

最後に、リバーマン博士より、日本の代替医療が今後どのようにはってんすべきか、聴講の皆様にご提案致します。